

このワークシートは学習のあと、先生にわたしましょう。

めあて パートの役わりをとらえてえんそうしよう

- *「パフ」の音源は、授業での聴取または学校HP等からの限定配信をご利用ください。学校からの配信は、一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会 SARTRAS へ届け出のうえ、パスワード等を用いた限定配信及びストリーミング配信（ダウンロード不可）で行ってください。
- *歌唱や吹奏楽器の扱いは、家庭等校外での活動を視野に作成しています。授業で扱う場合はマスクの着用やソーシャルディスタンス、音量等にご留意ください。

1. 教科書 56 ページの「パフ」の音げんをきいたり、合わせて1のパートを歌ったりしましょう。なれてきたら、手びょうしや足ぶみをしながら歌いましょう。

★気がついたことに○をつけましょう。○はいくつつけてもよいです。

- () 左ページと右ページのせんりつがにている
- () 左ページと右ページのせんりつは全くちがう
- () 左ページと右ページは、せんりつの終わり方がちがう

2. 1のパートを、リコーダーでふきましょう。

★1のパートを、音をたしかめてドレミで歌いましょう。教科書にドレミを書いてもよいです。

★1のパートを、リコーダーでふいてみましょう。

指づかいは、教科書 77 ページに出ています。57 ページの横に広げてたしかめながらふきましょう。

★左ページと右ページとに分けて、ゆっくり少しずつ練習しましょう。

できたら○をつけましょう。

- () 1のパートをドレミで歌うことができた
- () 1のパートの左ページがふけた
- () 1のパートの右ページがふけた
- () 曲全体の1のパートをふけた
- () 少しむずかしいところがあった

3. 「パフ」の2のパートを「ル」で歌いましょう。

2のパートのせんりつは、どのように動いていますか。思った方に○をつけましょう。

- () 1のパートと同じ音、同じ動きで、曲全体にいっしょに動いている
- () 1のパートとはちがうせんりつで、1のパートをかざるような役わりをしている

4. 2のパートを、リコーダーやけんばん樂きでえんそうしましょう。

★2のパートを、音をたしかめてドレミで歌いましょう。教科書にドレミを書いてもよいです。

★2のパートを樂きでえんそうしましょう。リコーダーの指づかいは、教科書77ページに出ています。

★ゆっくり少しずつ練習しましょう。

できたら○をつけましょう。

- () 2のパートをドレミで歌うことができた
- () 2のパートの左ページをえんそうできた
- () 2のパートの右ページをえんそうできた
- () 曲全体の2のパートをえんそうできた
- () 少しむずかしいところがあった

5. 「パフ」のてい音パートを、けんばん樂きでえんそうしましょう。

★てい音パートの音をたしかめながら、音げんをききましょう。

★てい音パートをドレミで歌いましょう。教科書にドレミを書いてもよいです。

★てい音パートをけんばん樂きでえんそうしましょう。

(けんばんハーモニカなどひくい音が出ない樂きを使うときは、樂ふにしめされた高さのままにえんそうします。)

*次ページへつづく

できたら○をつけましょう。

- () てい音パートをドレミで歌うことができた
- () てい音パートの左ページをえんそうできた
- () てい音パートの右ページをえんそうできた
- () 曲全体を通して、てい音パートをえんそうできた
- () 少しむずかしいところがあった

6. 「パフ」をえんそうするとき、気をつけたことや考えたことを教えてください。
どのパートのときでもよいです。

